

ネットいじめについて

ネットいじめとは、スマートフォンやパソコンで、無料通話アプリやSNSのサービスなどを使って行われるいじめのことです。直接会って話すのとは違い間接的にコミュニケーションをとるため、誤解が生じ、いじめに発展するケースが多くあります。実際に、どんなケースがいじめに発展するのか見てみましょう。

実際に起きたネットいじめのケース

SNS上（Twitter、Instagramなど）でのいじめ

A子さんはTwitterに、「〇〇ってかわいくない」と人気アイドルの写真とコメントを投稿した。本当は「〇〇ってかわいくない？」と書いたつもりが、“？”を付け忘れてしまった。

その書き込みを見たクラスメイトが、自分の好きなアイドルを否定されたと感じ、「A子の書き込みひどいよね！」と仲の良いグループの友人に、A子さんの投稿を広めた。その後、仲の良かったグループの友人から無視されるようになったA子さんは、食事もうるさなくなり、不登校になってしまった。



〇〇って、
かわいくない



外が怖い。
“？”を付け忘れ
ただけなのに。

ネットいじめを防ぐために

インターネット上では、思わぬことから“いじめ”に繋がることがあります。

上のケースはあくまで一例ですが、インターネットは便利な反面、誤解を生みやすい、という特徴があります。

実際にこのような些細なことでもいじめに繋がってしまうことがあり、事態が発展したことで、いじめにあった人は不登校になってしまったり、自殺してしまうという悲しい事件も起きています。

このような事態を防ぐため、以下のことに気をつけてインターネットを利用していきましょう。

- ・誤解を生むような投稿をしていないか、投稿自体に問題がないか、一度立ち止まって確認する。
- ・疑問に思う投稿があったら、自分1人で考え込まず、投稿した友人に確認する。
- ・問題のある投稿を見つけたら、画面のスクリーンショットを取って大人に相談する。

もし、周りの大人に相談できない場合は、24時間子どもSOSダイヤルに相談しましょう。

子供SOSダイヤル

なやみいおう
0120-0-78310

— 福岡県教育委員会 —